

| | | | |
|---|-----------|---------|-------------|
| <h1 style="margin: 0;">第37回関西月例会</h1> <h2 style="margin: 0;">議事録</h2> | 安全技術応用研究会 | | |
| | 承認 | 確認 | 確認 |
| | 増田 | 企画運営委員会 | 関西月例会 釜谷 |

日時：2019年5月10日 13:00～17:30

場所：IDEC株式会社 大阪本社

出席者：10名（法人会員：7社(8名)、個人会員：2名）

1. 報告事項

●定例報告

- 1) 第312回東京月例会の情報共有
 - ・第312回月例会議事録に従って、説明・情報共有を行った。
- 2) 最新情報トピックスについての補足
 - ・特になし
- 3) 企画運営委員会補足
 - ・特になし

2. 研究テーマ報告

- 1) 「安全確認型システムの概念」
 - ・東京月例会で行われた説明がなされ、情報交換・意見交換を行った。
- 2) 討議テーマ「統合生産システムに関する各社の現状と課題」
 - ・東京月例会で行われた説明の後、参加メンバー企業における現状と課題の紹介が行われ、情報交換・意見交換を行った。
 - ・立ち上げを予定している統合生産システムの委員会は、どのような成果物をつくろうとするのか、その目的・目標（①どのような業態の企業の②どの階層に③どのような項目・内容を④どの程度まで理解させるためのものなのか）を明確にしてからスタートすべきとの意見が出された。
- 3) 「各種安全(労働安全、機械安全、製品安全 等)の体系的な考え方についての提案」
 - ・今回は省略された。

3. 関西月例会の討議事項

・機械安全エンジニア C(MSE-C)のテキスト「機械安全の基本講習コース-講習テキスト 第3分冊-」に掲載されている「図 5.43 保護構造物を越える安全距離のイメージ図」において、

関西メンバーから以下指摘があり、現在、普及会に問合せを行っている。

- 規定されている安全距離の値の補間をしてはならず、値が中間の場合は、規定されている値より高い安全レベルを提供するような値としなければならない。(安全側の数値を使う。)
- 800mm 以下の安全距離の理由 (要求規格)

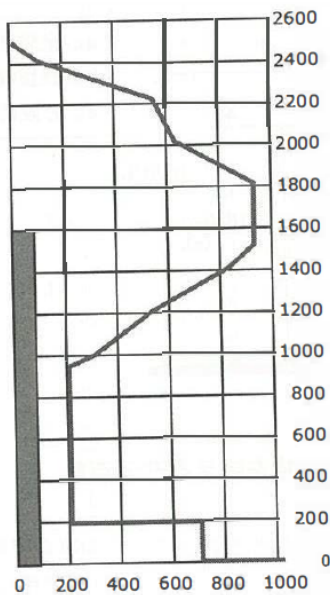


図 5.43 保護構造物を越える安全距離のイメージ図

4. その他

1) 関西月例会配付・発表資料

| 資料番号 | 資料名 |
|---------|---|
| 312-1-1 | 設計技術者、生産技術管理者に対する機械安全・機能安全に係る教育について |
| 312-1-2 | 設計技術者、生産技術管理者に対する機械安全・機能安全に係る教育に関し留意すべき事項について |
| 312-2-1 | 安全確認型システムの概念 |

2) 月例会開催予定

- ・ 東京月例会 : 5月31日(金) 10:00～ 品川区(きゅりあん)
- ・ 関西月例会 : 6月14日(金) 13:00～ 新大阪(IDEA 本社)

※関西月例会終了後、懇親会を開催予定

以上